

はじめに

この資料は、京都大学医学部人間健康科学科の学士入試制度を広く知っていただくため、より具体的に理解いただくため、学士入試を利用したみなさんのご協力を得て、作成されました。

みなさんが入学し半年経過した頃に、受験に至るまでのお気持ち、受験体験、実際の大学生活、そして将来の夢などについて、ざっくばらんに伺う座談会を開催しました。また、座談会に参加できなかった方々には Web アンケートにて回答を得ました。これらの結果をまとめた資料です。

学士入試をご検討くださっている多くの方々の進路選択のご参考になることを願っております。

人間健康科学科

学士入学者座談会参加者募集

入学されて半年、いかがお過ごしですか？

私たち学士入試検討委員会では
本入試制度を広く周知するために活動しています

医療系への学士入学を考えている全国の後進の方々のために、
みなさんのざっくばらんなご意見を是非お伺いしたいと思います

みなさんの受験体験談やご意見は学士入試のPRに使わせていただきます

同時に、学士入学されたみなさんの交流の場になれば、とも考えています奮ってのご参加をお待ちしております

(座談会を呼びかけるポスターより)

座談会を呼びかけたポスター



座談会の様子



座談会の様子

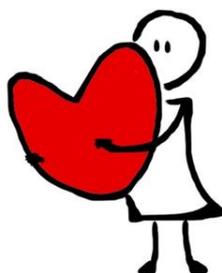
学士入試、どうですか？

学士入学を決めた時期を教えてください

- ・出願期限の間際でした。(H. H.さん)
- ・入学前年の秋でした。(O. W.さん、K. N.さん、T. N.さん)
- ・入学前年の初夏でした。願書提出期限まで間がなかったので、急いで願書を出しました。他大学の学士入試は約2年前から考えていました。(M. I.さん)
- ・2年くらい前からいろいろと考えていました。でも学士入学を思いついたのは入学前年の初夏(出願提出期限まで数週間前)です。(N. N.さん)
- ・学士入学を知ったのは出願期限の数か月前で、受験を決めたのは、出願期限間際でした。(H. N.さん)

数年かけてて進路を吟味した方もいれば、**学士入試の受験を決めたのは、出願提出期限のギリギリという方もいらっしゃいますね。**

みなさんには学士入試も含めた多様な選択肢があったようです。



どうして学士入学をしようと思いましたか

- ・年齢を重ねるにつれ、身内の病や死と向き合う場面が増え、人間の心身について学びたいと思うようになりました。(K. N.さん)
- ・ストレスフルな仕事をしていました。オーバータイムワークをしても価値がある仕事をしたいと願い、医療を志しました。(M. I.さん)
- ・家庭環境から医療に親しみがありませんでした。英文学をやっていましたが自分のコアを持って英語をツールとして使っていきたいと考えていました。自分が役に立っていると思えるのは医療だろうと思ったのです。(O. N.さん)
- ・小さい頃から看護師に憧れていました。心のことが知りたいと思い、また、自分が文系を考えていたため、文学部に進学しましたが、“看護が物語をケアする”と知り、自分がやりたいことがあると思いました。(N. N.さん)
- ・実際に(医療以外)仕事をしてみて、人相手の仕事の方が向いていると思いました。視野を広げたいと感じました。(T. N.さん)

京都大学、どうですか？

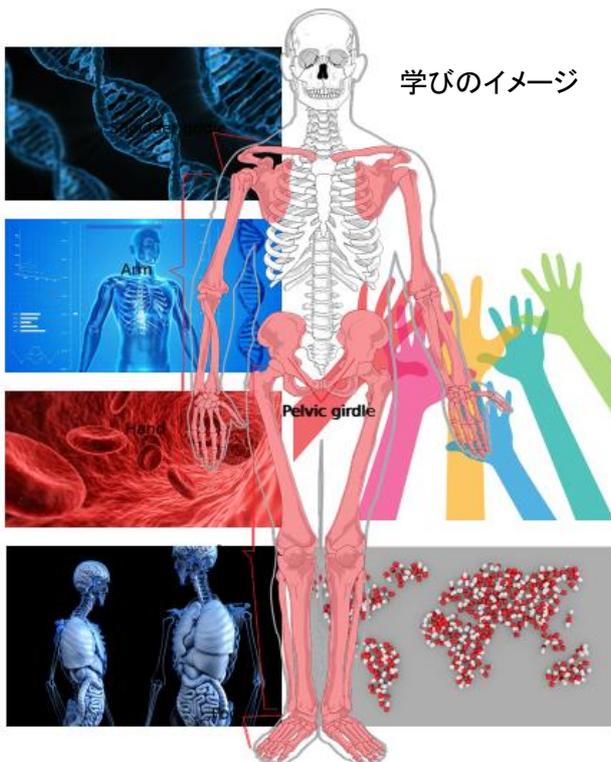
京都大学を選んだ理由を教えてください

- ・移植医療を学べるため。(H. H.さん)
- ・看護師の資格取得を目指しつつ、学問的に看護・医療分野について幅広く学べると思ったため。(K. N.さん)
- ・国立なので研究費が多く配分されていると思ったため。また、iPS 研究などの分野に進む年代が多くいる環境は、京大ならではの環境だと思った。(M. I.さん)
- ・研究が行われている。そして研究をしている教授陣が教鞭をとっていると思った。自由度が高いイメージがあった。海外の大学との提携があるだろうと思った。また提携している大学のレベル自体も高いだろうと考えた。(O. N.さん)
- ・通学時間が比較して短かった。卒業までの年数や学費を考えると合理的だった。(O. W.さん)
- ・学費が妥当だった。将来海外での活動も視野に入れているが、その際には大学卒業の資格が必要だと感じたので大学が良いと思ったから。また、所属教授のテレビ出演を見て興味を持った。(N. N.さん)
- ・看護(医療)に限らず幅広いことができると感じた。多様性があると感じた。一度関西に住んでみるのもいいかと思った。(T. N.さん)
- ・学費が安い。学生寮があるため生活ができる。他分野との交流がある。(H. N.さん)

京都大学での印象的な学びを教えてください

- ・解剖学です。(H. H.さん、K. N.さんほか、多数)
- ・専門基礎科目の講義がわかりやすい。(M. I.さん)
- ・多彩な教養科目を学ぶことができる。(O. N.さん)
- ・(配置回生ではなくても)ゼミに参加させてもらえる。興味ある研究室に訪問でき、どのような活動をしているのか等を見せてもらえる。大学の雰囲気が自由で、自分から行けば教えてもらえることが多い。(N. N.さん)
- ・研究を行いながら臨床をしている人が教えにくるため、情報が新しく、臨床経験に基づいた講義を受けられる。そのような講義は興味深く聴ける。医学の基礎を現役医師が講義しているのは面白い。(T. N.さん、H. N.さん)

学費を含めた大学生活のしやすさを挙げている方がいました。さらに、医療以外の分野との連携が可能であること、多様な選択肢を得られる機会が多いことが挙げられました。選択肢が多いとキャリアプランを立てやすくなるかもしれませんね。



将来どう考えていますか？

以前在籍していた大学やこれまでの経験と、京都大学で学んだこと(学ぶこと)を合わせてどのような活躍をしたいと思いますか、夢やキャリアプランを教えてください

—以下のイニシャル表示は省略しています—

- ・未定です。
- ・医療制度の枠組みに拘らないで、いろんな人が一緒に暮らせるような地域づくりに関わることを考えています。
- ・大学では法学部に在籍していました。看護の勉強とともに法律分野も再度勉強し、医療と法の両側面から医療過誤の問題も考えていきたい。
- ・大学で子ども支援(貧困や不登校)のNPOに関わっていました。いろいろなシステムが複雑に絡み合っており、問題解決の足かせになっている現状を目の当たりにしました。社会において、医療制度や支援システムの開発をしたいと思っています。臨床では子どもに関わっていききたい。

将来したいこと、興味ある分野は？

- ・海外で働いてみたい。
- ・ゲノム医療に携わってみたい。緩和医療に興味がある。
- ・大学院進学を考えている。
- ・外国人に特化した医療コーディネーターをやりたい。
- ・出産してみたい。産科領域に興味がある。
- ・一般の人が医療者の言葉に左右されることが多い。医療におけるコミュニケーションについて考えていきたい。
- ・医療制度の改革をしたい。
- ・子ども関係のことをしたい
- ・今ある職種ではなく、(新しい職種を創設するぐらいの)新しい視点・外部の視点から医療に切り込んでいきたい。



あなたは将来どうしたい？

受験どうでしたか？

受験のために取り組んだことがあれば教えてください

- ・過去問を解く。入試問題の過去問の閲覧が可能です。閲覧しにいきました。
- ・TOIEC の受験、TOIEC のスコアアップ対策。
- ・新聞を読みました。
- ・医療・看護分野のトピックスをいくつか絞り、それに対する自分の意見を論理的に述べられるようにしました。
- ・医学部編入用の受験本を対策として使用しました。
- ・小論文や英語の添削をしてもらいました。

やっおくとよい受験対策があれば教えてください

- ・英語をやっておく！
- ・過去問が少ないので、他大学の過去問を解いてみてもよいかも。
- ・大学が問題意識を持っていそうなテーマについて、社会的な背景などを勉強しておく。
- ・他大学の面接を受ける。面接はどの大学でも行っており、医療における問題点は共通している。



座談会の様子

これから受験を考えている方に一言

- ・サークル活動やバイトなど社会を知るための視野を広げる。今の生活をしっかりしてたくさんの物事を知る。
- ・(大学生活に)戻ろうと思えば戻れるのでやってみる。
- ・迷っていたら1回やってみる！ やってみれば違ったものも出てくる。
- ・大学は使い倒してなんぼだと思っている。幅広いコネクションを築ける。やりたい人をバックアップしてくれる環境がある。京都大学を使い倒せ！
- ・お金に困ったら熊野寮にいらっしやい。昼夜合わせて500円で食べれます。3-4万/月で暮らせます。
- ・友達を大切にするといいですよ。
- ・諦めなくてよかった！ 文系にも医療の道がありました。諦めなくてよかったと思っています。

心の中で「医療もいいかも？でも今更…」と思っているみなさん。諦めなくてよかったと思っておられる先輩がいます。

今日があなたの人生で一番若い日です。人生100年時代、自分が信じた道にもう一度チャレンジしてみませんか。医療はこれまでの経験が広く求められる分野です。

みなさんの力で医療を展開していきましょう。ぜひ、みなさんのトライをお待ちしております。